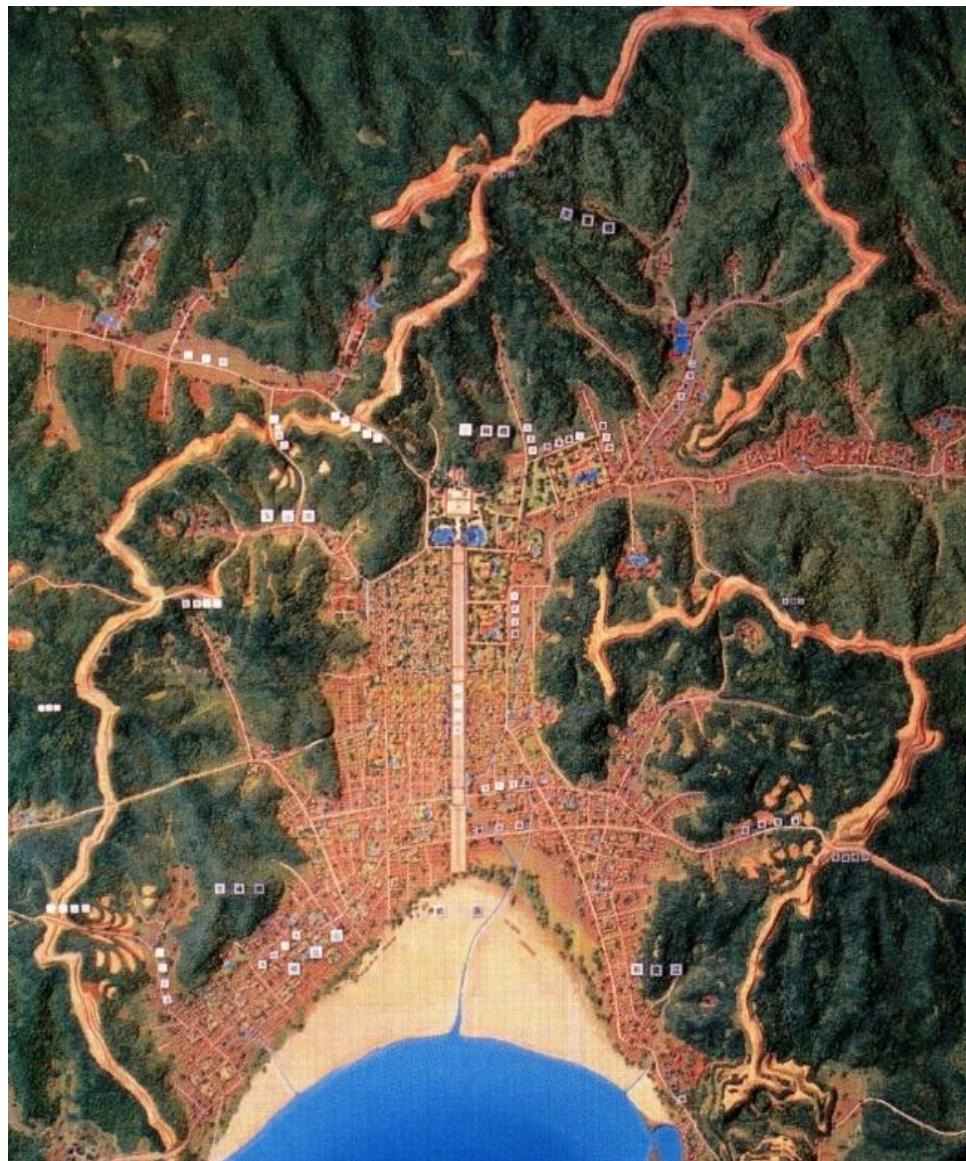


まちの魅力を際立たせる一方、 交通渋滞・災害脆弱などの課題を抱える中世からの都市構造

R3.5.17 地方公共団体のスーパーシティ提案についての国家
戦略特区WG委員等によるヒアリング 鎌倉市提出資料



中世の都市モデル



現在の地形

鎌倉スーパーシティ構想

「共生みらい都市」 ～世界一Well-Beingが高いまちKamakuraの実現～

- 「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会」を目指す（共生社会の共創）
- スーパーシティの取組みは、これまで先人たちが大切にしてきた理念を引き継ぎ、持続的な取組みにより、鎌倉のまちを次世代に責任を持って引き継ぐ

～ 鎌倉市が大切にするまちづくりの理念 ～

- 古いものを大切にしながら、積極的に新しいものを取り入れ、新たな価値を築く **“鎌倉らしさ”**
- 市民力・地域力を活かし、自然をはじめまちに関わる全ての要素を繋げ、地域課題を解決し、まちの魅力を高める **“共生の精神”**



これまで豊かさの指標としてきたGDPに代わる、真の市民の豊かさ・幸福を考えるうえで必要な指標を確立し、PDCAを通じて、鎌倉の幸福と暮らしやすさのモデル（LiveabilityWell-Being City指標）を精緻化することで鎌倉から世界一幸福な共生社会の構築を目指す

鎌倉の幸福感と暮らしやすさ（人の内面）を デジタルツインとしてモデル化

Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

「共生みらい都市」の実現に向けた3レイヤーデザイン

- 鎌倉スーパーシティは、共生みらい都市の実現に向けて3つのレイヤーが有機的に連動するようにトータルデザイン

Citizen participation layer

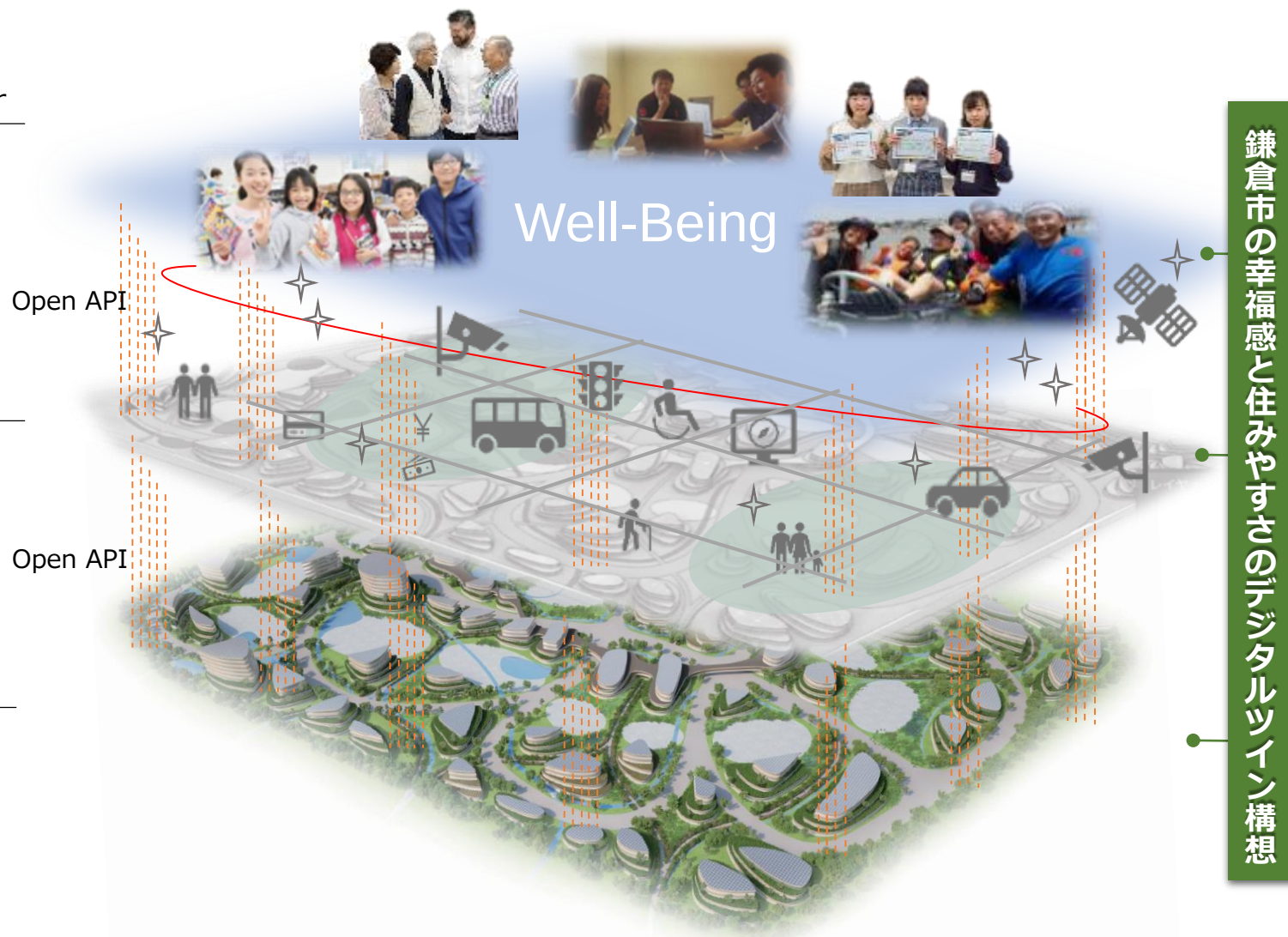
Well-Beingを共創する

Digital layer

デジタルで課題を解決する

Physical layer

まちのハードをリデザインする

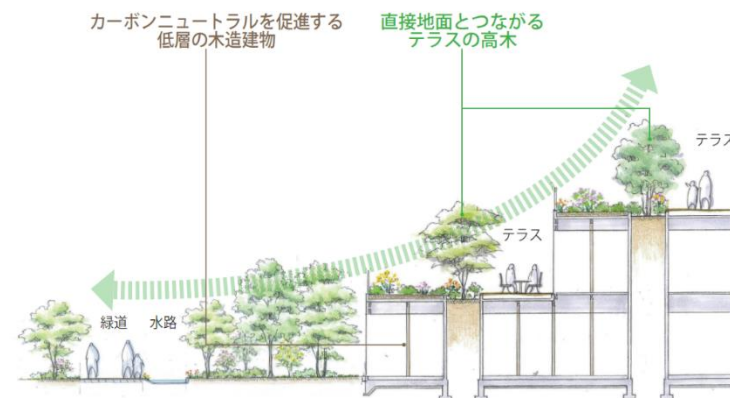
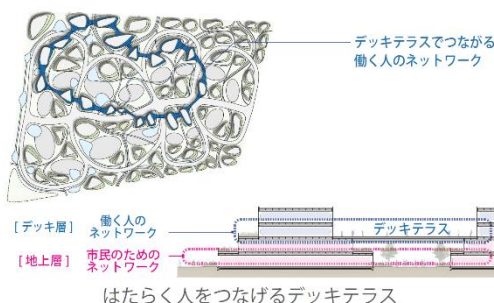


鎌倉市の幸福感和住みやすさのデジタルツイン構想

Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

地球環境（カーボンニュートラル）と社会活動が寄り添う次世代のコミュニティ

- 私は鎌倉で育ち、歴史の深さと、海山の自然に恵まれた鎌倉の潜在的可能性と、その都市としての魅力を身をもって体験しています。
- 鎌倉の恵まれた自然資源を守り、さらに力強く再生させながら、その鎌倉らしい自然とカーボンニュートラルな自然素材を活用した都市に、**デジタルテクノロジーと生活のシームレスな融合によって可能となるやさしくあたたかい新しいコミュニティを創造したい**と考えます。
- 鎌倉の歴史や文化、そして山、谷、川、海が有機的につながった自然条件の融合が生む鎌倉的価値を新しいテクノロジーと結合させることによって、世界を牽引し、世界の人々を吸引する新しい都市モデルを創ります。



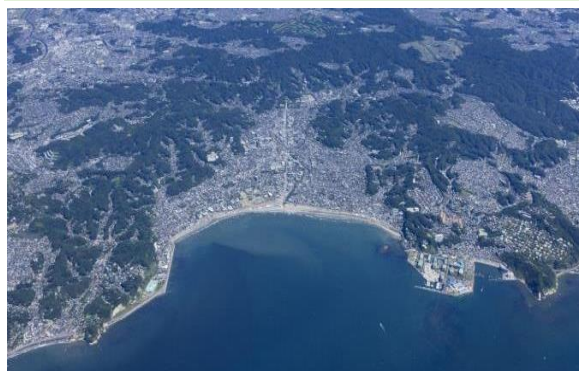
緑が立体的につながる丘のような建築

リードアーキテクト 隈研吾

鎌倉市が抱える課題と目指す将来像

災害対策・気候変動

- 魅力的な風景を醸し出す自然地形は、災害には脆弱で、近年の台風では**大規模な土砂災害や停電**が発生
- 津波は、**地震発生から10分程度**で海岸に到達し、避難誘導も大きな課題



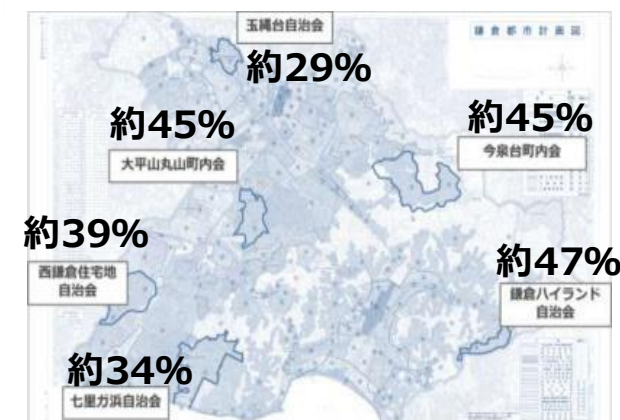
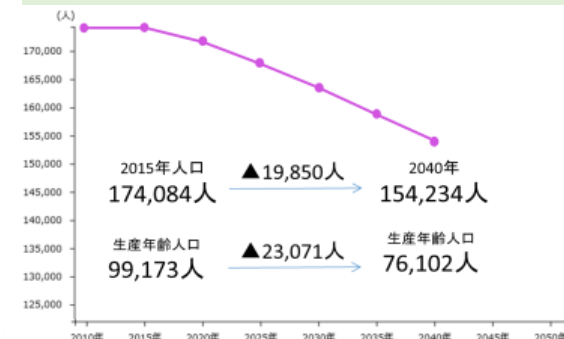
交通渋滞・オーバーツーリズム

- 年間2000万人近い観光客の来訪により、**慢性的な交通渋滞**の発生をはじめ、市民生活へ大きな影響が生じる
- **公共交通・緊急自動車の遅延、移動困難、買い物不便**



人口減少・少子高齢化

- 市全体の高齢化率は**約31%**、高度経済成長期に開発された住宅地では**50%近い場所**（6か所）も存在
- コミュニティの希薄化や、交通不便・移動困難など複数の課題を誘発



自然と共生したスムーズな
避難誘導・防災体制を実現

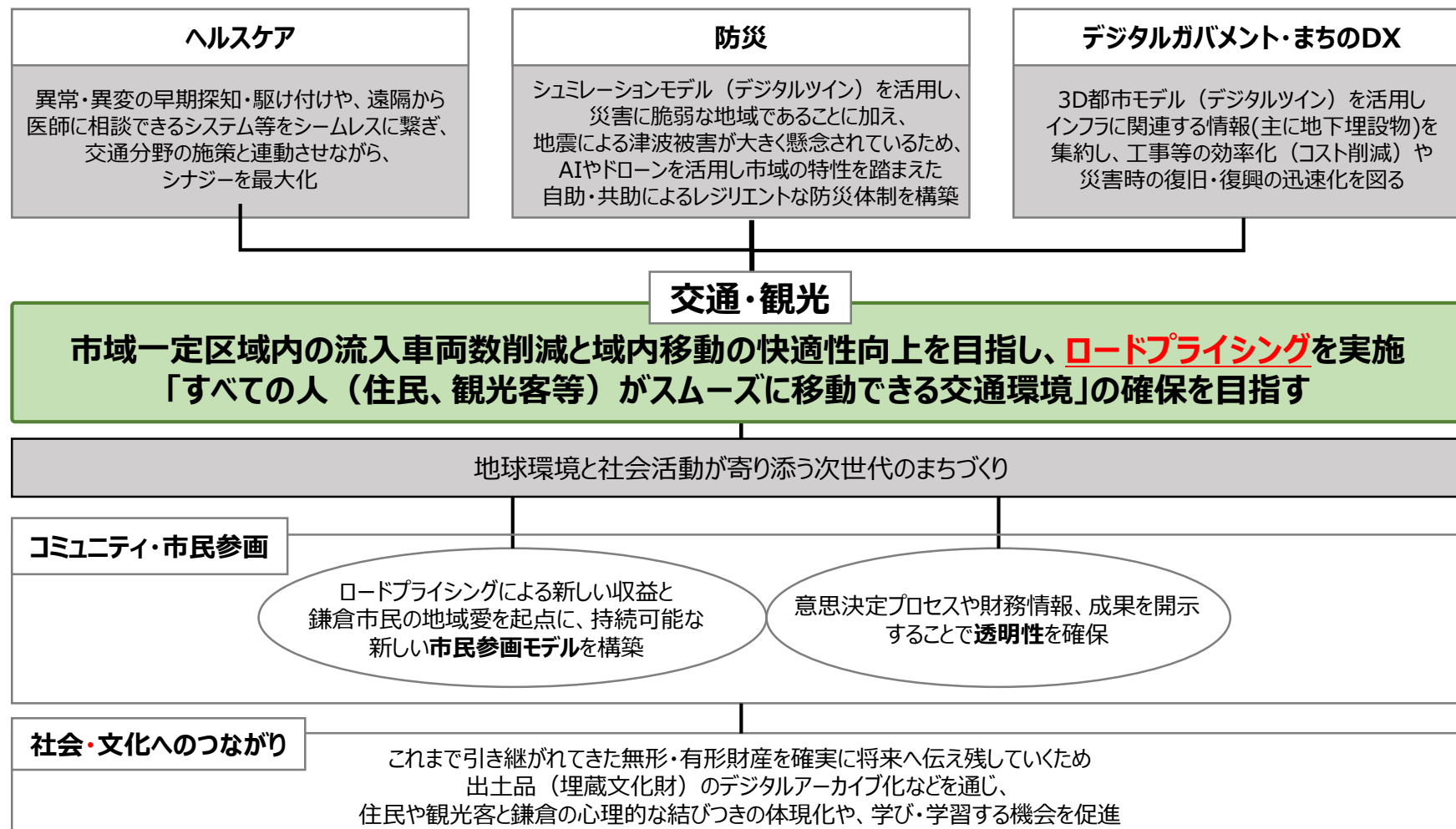
ロードプライシングを中心に
スムーズな移動環境を実現

交通・医療等への
スムーズなアクセスを実現

誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会の実現

概要

- 鎌倉市の抱える中枢課題は、**オーバーツーリズムを一因とした交通渋滞**であり、市民生活・社会経済活動に様々な課題を生み出している
- 本提案では、課題解決に向けた取組領域として、「交通・観光」を主軸に「防災」、「ヘルスケア」、「デジタルガバメント・まちのDX」、「コミュニティ・市民参画」、「社会・文化へのつながり」の6テーマから、**先端的なサービスの実装と必要な制度改革・規制緩和を要望**

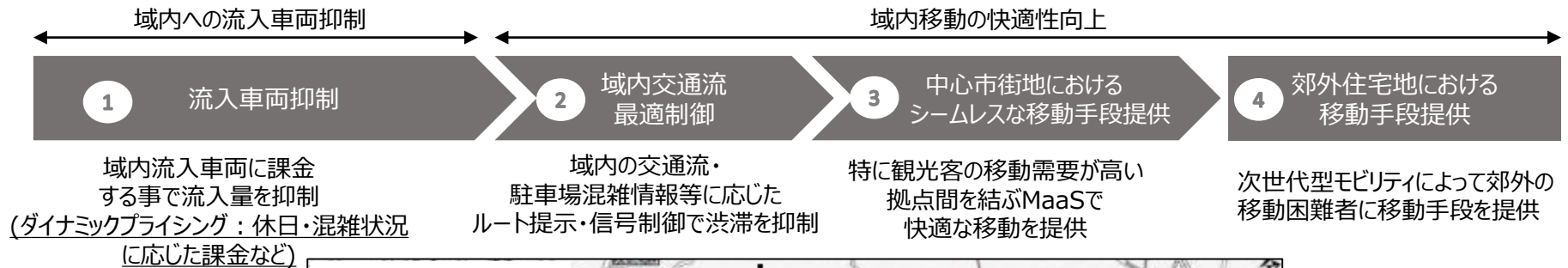


先端的サービスの概要：スムーズな移動環境の確保

Ⅱ ①「複数分野の先端的サービスの提供」に関する事項

解決施策全体像

- 鎌倉地域の地形（道路状況）・交通実態から渋滞解消に最も効果があるのはロードプライシングであると推定し、**ロードプライシングを基軸に、交通需要マネジメント**の施策を実施する



① 流入車両抑制

- ・ **ロードプライシング**
- ・ パーク&ライド

エクサウィザーズ

※日本ユニシス

ニューラルポケット

※三菱商事

※NTTデータ

② 域内交通流最適制御

- ・ 渋滞緩和ルート提示
- ・ 駐車場混雑情報提供
- ・ 交通流と連動した信号制御
- ・ 減速促進情報提供
- ・ 人流/交通流を基にしたお勧め観光ルート提示
- ・ バーチャルツアーの構築（交通流の抑制）

エムティーアイ

カヤック

シスコシステムズ

※湘南モノレール

ソフトバンク

ニューラルポケット

※三菱商事

Future

JTB

※JTB総研

NearMe

③ 中心市街地におけるシームレスな移動手段提供

- ・ パーク&ライド駐車場からのMaaS
- ・ 観光客の移動需要が高い拠点間のMaaS

エクサウィザーズ

カヤック

※湘南モノレール

凸版印刷

日本ユニシス

※三菱商事

Acculus

LINE

NTTデータ

scheme verge

④ 郊外住宅地における移動手段提供

- ・ 次世代コミュニティモビリティ（超小型等）
- ・ **ドローン（空飛ぶ車）**

※エアロネクスト

※神奈川オールトヨタ販売店

※湘南モノレール

ソフトバンク

※三菱商事

NearMe

SkyDrive

Ⅱ ①「複数分野の先端的サービスの提供」に関する事項

先端的サービスの概要：スムーズな移動環境の確保 Ⅱ①「複数分野の先端的サービスの提供」に関する事項

ロードプライシングの実現に向けて

- ロードプライシングの実施にあたって、課金の考え方と実現に向けて必要な規制緩和を整理
- 総務省、国土交通省とこれまで議論してきたが、スーパーシティの枠組の中で実現に向けたさらなる具体的議論を進め、規制緩和に取り組みたい

いずれの案もETCによる徴収が前提

課金根拠	主旨	制度的課題	解決策	所管官庁
○法定外税では実現が困難				
法定外税 (地方税)	■ 地域への流入車両抑制策として（財源目的ではない） ■ 地域の交通環境改善に向けた財源として	✓ 徴収は申告納付形式を想定しているが、納税者が税額等申告する行為が必要 ✓ 市民の負担を無料とすることは、課税の平等性・公平性の問題が生じる ✓ 法定外税は課金の違法性を問う訴訟事例が存在し、自治体の負担（リスク）大	➢ 「地域への流入車両」を行った場合、申告したとみなすものとするよう地方税法を改正する ✓ 訴訟リスク等を踏まえると、自治体単独での実行は現実的ではなく、国レベルでの支援が必要	総務省



○制度創設・改正要望

道路通行 への課金	■ 地域への流入車両抑制策として ■ 地域の交通環境改善に向けた財源として	✓ 課金主体（市）と道路管理者（県・市）の不整合の発生 ✓ 「道路無料公開の原則」との関係の整理が必要 ✓ 市民への減免について、公平性の観点から整理が必要	✓ 課金主体（市）と道路管理者（県・市）の不整合を解消するため、道路管理の概念を拡大（道路による周辺環境への影響など概念を拡大） ✓ 「地域への流入車両に課金する」ことを可能とする新しい法的枠組みの構築	国交省等
新制度 創設	■ 地域への流入車両抑制策として（財源目的ではない）	✓ 課金の平等性、公平性の問題は概ねクリアできるが、減免する市民の範囲を全市民とするのが困難（コードンエリア内の市民のみであれば減免できる可能性あり）	✓ 「地域への流入車両に課金する」ことを可能とする新しい法的枠組みの構築	関係省庁

先端的服务の概要：スムーズな移動環境の確保

Ⅱ①「複数分野の先端的服务の提供」に関する事項

持続可能でレジリエントなスマート物流インフラの構築に向けて

鎌倉の特徴的な地形でもある谷戸には、古くから住宅が建ち並び市民生活の場となっている

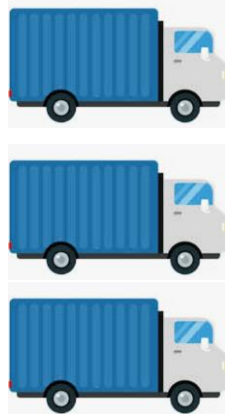
豊かな緑に囲まれ環境が良好である一方、道路等インフラが脆弱で、移動困難・買い物不便、災害時の安全性等の課題を抱える

高齢化の進行

移動困難・買い物不便

物流サービス限界

既存市街地で「スマート物流インフラ」を構築
(既存物流と「最適なラストワンマイル物流」の組合せ)



ドローン配送
(民法・航空法等)

遠隔医療・服薬指導
(薬機法等)

物流版Uber
(貨物自動車運送事業法等)



医療へのアクセス改善

非常時のライフライン確保

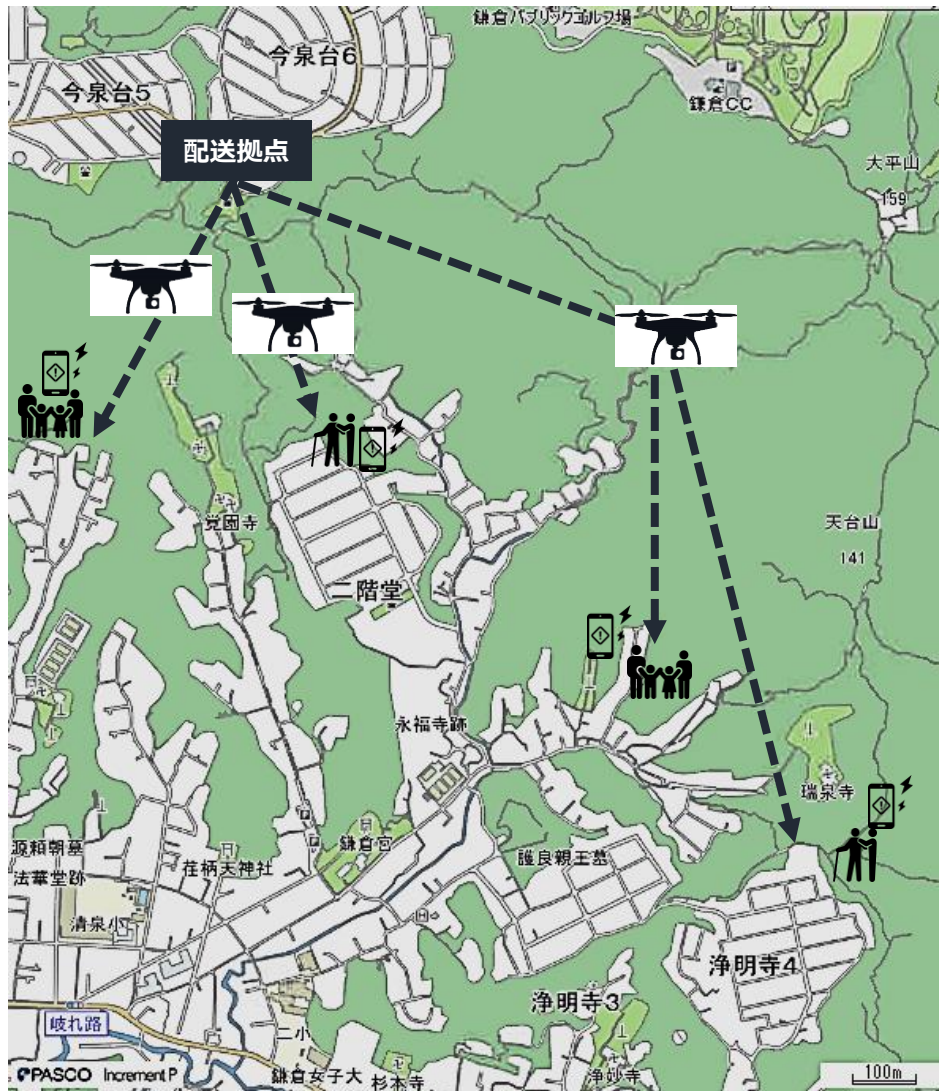
買い物利便性向上

物流の最適化・災害時の不安解消により、谷戸地域の価値創造（高齢化の進行・人口減少に歯止め）

先端的サービスの概要：スムーズな移動環境の確保

Ⅱ①「複数分野の先端的サービスの提供」に関する事項

谷戸地域でのドローンの活用の可能性



脆弱な道路インフラよりも丘陵部（DID区域外）を活用した移動・輸送が効率的

谷戸地域の特徴

- 公共交通機関へのアクセスが困難（交通不便地域）
- 高齢者をはじめ買い物は不便
- 災害時にアクセスが寸断され、地域が孤立するリスクが高い
- 高齢者が多く在住し、災害時等の互助・コミュニティ力が低下

ドローンを活用した物資配送

- 広大な山間部を主な飛行ルートとし、谷戸地域へ効率的に配送
- 交通渋滞に左右されない速やかな物資輸送を実現
- ラストワンマイル物流を最適化・高効率化
- 災害時の物流寸断や被害状況の把握等にも迅速に対応

ドローンに関する規制緩和

- 民法207条 山間部をはじめ、飛行ルートの土地所有者からの許諾取得は困難、告示等によるみなし承諾等が必要
- 航空法132条の2 第1項第6号（目視外飛行）、第7号（30m未満の距離での飛行）、第10号（物件の投下）

鎌倉の地理的特徴の継承と新たな魅力・価値の創出

- ドローンに加え、小型モビリティや物流版Uber等との組み合わせにより、物流の最適化と交通・買い物・医療アクセス等の不便解消
- 配送車両の減少・Co2排出抑制によるカーボンニュートラルの促進
- 地域の利便性の向上により、二拠点居住者や若年層や流入に伴うコミュニティ力の向上への期待

先端的サービスの概要：スムーズな移動環境の確保

Ⅱ①「複数分野の先端的サービスの提供」に関する事項

ドローン配送施策の概要



未来への循環

- 鎌倉のまちは、鎌倉駅周辺や谷戸地形などに代表される古くから住宅地や商店街として土地利用が進んできた場所、大船駅周辺などに代表される都市的土地利用が進む場所、さらに高度経済成長期に開発された大規模住宅地などの既存市街地①と、新たなまちづくりが進む場所②と性格の異なる2種類の地域が存在
- 性格の異なる地域がそれぞれの特性を生かした役割を果し、互いに影響しあうことで、市域全体のポテンシャルを高めていく

1

旧鎌倉地区や大船地区などの既存の市街地で発生している①災害激甚化、②交通・観光の適正化、③超少子高齢化などの地域課題の解決に、データやテクノロジーを活用して先行して取組む

2

既存の市街地での取組で得た知見を、今後開発が進む深沢地区の新たなまちづくりに生かす

さらに、深沢のまちづくりの成果を既存の市街地にフィードバックし、新たなまちづくりと既存の市街地のまちづくりを立体的に取組む

未来への循環



Well-Being 世界最高の地 Kamakura の創造

Society5.0のまちづくりに向けた規制緩和

- 既存市街地における土地利用転換や機能強化を図る上で、土地区画整理事業は効果的な手法である一方、詳細な技術基準等が制約（設計の自由度が低く）となり、本市が目指す次世代のまちづくりを進めるうえで障害となる
- そのため、共生社会の実現に向けた新たなまちづくりにあたり、デジタル技術とデータを実装したスーパーシティの実現に向けて、土地利用の自由度をより向上させる規制緩和を要望する

（１）道路、公園等の基準緩和

- ・ 土地区画整理法では、施行区域内の道路幅員や公園面積などを制限する規定を設けており、設置にあたっては、道路法（道路構造令）や都市公園法に定められた基準（管理を前提とした基準）を満たす必要がある
- ・ しかし、自動車等の既存インフラを前提とせず、人を中心とした次世代のまちづくりを進めるスーパーシティにおいては、オープンスペース・緑化のあり方、移動の手段などが20世紀のまちづくりとは大きく変化することを考えると、基準への適合審査だけでなく、性能規定での審査も必要と考える
- ・ そこで、Society5.0のまちづくりに向けて、土地利用についてより自由度を高める規制緩和を提案したい。併せて、時間帯による用途の変更、土地の有効活用など、まちの魅力向上に繋がるものに対する、占用許可基準と公園施設設置基準の緩和も提案する

（２）用途地域の配置制限の緩和

- ・ 異なる用途地域の隣接配置基準の緩和、時間帯や曜日による建築物用途の制限など、ミクストユースな土地・建物利用のための都市計画法ほか関連法の規制緩和

幸福感と暮らしやすさ（人の内面）のデジタルツイン

■ 鎌倉の文化や歴史を踏まえた幸福のあり方を可視化し、定量的な評価を基にスーパースィティを継続的に進化

慶應義塾大学 Well-Beingリサーチ参与 前野教授の助言

世界一Well-Beingの高いまち Kamakuraの実現

社会的
(に良好)

精神的
(に良好)

身体的
(に良好)

社会的つながり・
感謝

自己実現・
精神的安心
(安全・安心)

未病・予防・医療

市民のWell-Beingと
Liveabilityの向上

取り組み領域

コミュニティ・
市民参画

ヘルスケア

社会・文化への
つながり

防災

交通・観光

デジタルガバメント・まちのDX

データ連携基盤

(仮称) 鎌倉アーバンデザインセンター

(仮称) 鎌倉スマートシティ推進協議会

環境的価値

市民的価値

公共的価値

経済的価値

価値観・社会関係資本
の創造

ルール形成
・改革

ビジネスモデル
創造

可視化

鎌倉市の幸福感と暮らしやすさのデジタルツイン構想

社会生活環境
Liveability

社会

・公共空間
・安全安心
・地域とのつながり
・雇用

精神

・居住環境
・移動
・子育て義務教育
・高等教育

身体

・自然環境
・医療健康
・買物/食糧
・介護福祉

オープンデータ・アンケート・センサー等により地域環境を具体的に評価

Well-Being

ひとりひとりの幸福

社会

・他者貢献
・チームワーク
・役割認識

精神

・自己成長
・他者承認
・自己裁量
・リフレッシュ

身体

・リフレッシュ

コミュニティの幸福

社会

・向社会行動
・地域の一体感

精神

・多世代共創
・多様性への寛容さ
・地域内の社会関係資本

身体

・地域の幸福

Well-Beingの構成要素（社会・精神・身体）の状況を個人とコミュニティレベルで評価

測定方法

アンケート分析

＋ オープンデータ分析

＋ センサーデータ分析

■ EBPM

■ ワイズスペンディング

■ Code for Well-Being
設立・ダッシュボード構築

フィードバック

(Well-Being向上のために解決すべき課題の提示)

- 幸福と暮らしやすさリンク・ローン（後段）
- 幸福度No.1フィンランドとの連携（参考資料）